

JARL

香川クラブ報

No. 314 平成13年2月15日



J A 5 Y D E

20世紀最後の忘年会盛況のうちに開催される

20世紀最後の忘年会が、去る12月19日に開催されました。
会場は昨年と同じく古馬場にある「いもたこなんきん本舗」において開催されました。
まず、天野会長が各種行事の総括等についてあいさつがありました。

引き続き稲毛OMがJARLの近況や
会員数の激減によるJARL組織の改変
状況、会員増強等の話がありJA5UY
長尾OMの乾杯で酒宴に移りました。



話題はもっぱら今年あった行事の話
が中心でソフトボール大会やボーリング
大会、ARDF等の話題で多いに盛り上
がり、またオールJA5コンテストや先
の香川マラソンコンテストの話題にも大
いに花が咲きました。

そして何と云っても今年限定の各種2000年関連アワードの成果や苦労話があっ
こっちで話題に上がっていました。

呑み助が多いからと恒例の飲み放題のコースを取っていたせいもあり、空くは空くは
お酒にビール、焼酎にウイスキー・etc。

予定していた時間を大幅にオーバーしてしまいました。それでも忘年会開始前に集金して
いた費用よりかなり安価にあがり、お陰で返金することができました。

飲んで食べて多いに盛り上がり、20世紀最後のFBな忘年会となりました。

**参加者 JA5MG、JA5UY、JA5AHM、JA5IJL、JA5TFJ、JA5TOP、JH5EZB、JH5LYW
JH5PMZ、JR5GLO、JE5PBO、JF5EAP、JG5OBX、JI5SAO、JI5VWA**

香川マラソンコンテスト結果

1日	1局	バンド	局数	地域別	モード	局数	
2	4	1.9	11	5			
3	18	3.5	23	9			
4	3	7	23	8	CW	71局	
5	7	14	16	8			
6	12	21	27	11	SSB	96	
7	14	28	22	9			
8	19	50	39	11	FM	125	
9	2	144	46	10			
10	18	43	61	12			
11	31	1200	24	8			
12	40	送信局数 地域別 日数別 総得点 合計 292×(91+15) = 30,952点					
13	77						
14	6						
15	40						

Op. JH5LYW, JE5PBO

運用結果は上記のとおりでした。

今年は惜しくもわずかの差で社団マルチの部第二位でした。

なお、クラブ員で個人の部において入賞されました方々のお知らせをします。

個人マルチバンド電信の部	1位	JH5EZB
7MHz 電話の部	1位	JA5TFJ
14MHz 電信の部	1位	JH5WMN
21MHz 電信の部	1位	JR5EHB
50MHz 電話の部	1位	JG5WUN
430MHz 電話の部	4位	JI5SAO
特殊モードパケットの部	1位	JG5RST

以上、昨年と同じく7局の方々が入賞されました。

各局おめでとうございます。次回もまたがんばってください。

入賞者は3月4日の「ハムフェスティバル in 香川」において表彰されます。

各部門とも得点レベルが低く、参加者も減少しているようです。

また、誰もエントリーのないバンド・モードもかなりあったようです。

なお、昨年7月15・16日に開催されました「オールJA5コンテスト」において、クラブ員で入賞された方の紹介をします。

社団の部	香川県第1位	JA5YDE
個人マルチバンドマルチモードの部	香川県第1位	JR5EHB
1200MHz 電信電話の部	四国第1位	JG5WUN

ハムフェスティバル in 香川に参加を！

平成12年度JARL香川県支部大会「ハムフェスティバル in 香川」が綾歌・坂出クラブ等の主催で綾歌町「アイレックス総合会館」において開催されます。クラブおよびクラブ員がたくさん表彰されますので、年度末のお忙しい時期ではありませんが、たくさん参加するようにしてください。

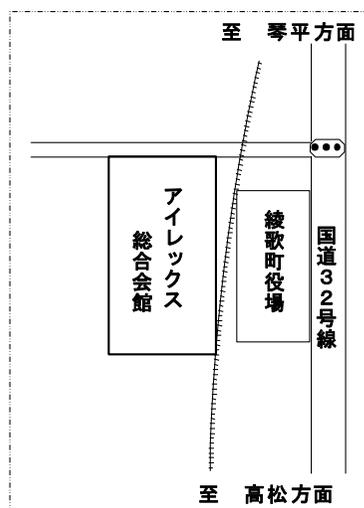
記

日時：平成13年3月4日（日）
11:00~16:00

場所：アイレックス総合会館

次第：支部大会
講演
各種表彰式
写真撮影
お楽しみ抽選会

詳細についてはJARL香川県支部報
2月15日号を参照するか、JA5TOP
平賀OMまでお問い合わせください。



昨年全日本ARDF競技大会において日本一に輝いたJF5MED山田OMから体験記事を頂きました。編集の都合上何回かに分割して連載しますのでご了承下さい。

今世紀最後の全日本ARDF競技大会

JF5MED

今世紀を締めくくる全日本ARDF競技大会が東北の福島県は岩瀬村にて行なわれました。競技者としての香川勢の参加者は私を含めて合計6名でした。

皆々、四国エリア内では並々ならぬ実力の持ち主たちの集まりですが「今大会こそ」と意気込む私としましては、集った人達に負けることも劣らない情熱および野心をも含めこの東北遠征に望んだ訳で、ある意味全日本大会には特別な感情を持っております。

大会当日は曇り。天気予報では午後から天候がよくない模様だとアナウンスしていたので私自身としては「競技のスタート時間は速めのグループのほうが良いな」と内心思った訳でありました。プログラム表には第8組のスタート。これは、プログラム進行上では半ば辺りを指し示しておりこのスタート順位が、競技中に後々影響してくる事にもなりました。

10:00、第一組のスタートと思いきやいきなりのTXトラブルにて1時間50分程度進行が遅れることになったのですが、時間が遅くなるに従いお天気を気にしていた私としましても内心気が気でなくなってきました。体感的に比較的暖かい秋の気候の四国と違い東北の秋は冷たく、冷気が肌を刺す辺りは真冬を思い浮かべるような感じでした。

第1組の呼び出しの時選手は呼び出しされた方から順に受信機を持って選手待機場所へと集ってきますが、呼び出しが有るにも拘らず何名かの方が1分たっても集ってないといった状態でした。

第2組の集合案内がされる頃には集ってはいましたが、何となくその方のARDFに対するその日の意気込みがわかるような感じがしました。外気温になれてない事もあり本来の意欲等も消極的になってきているのでしょうか。

スタート10分前。

各選手に競技用地図が配布された瞬間は結構注目でした。遠目で、チラチラ覗いてましたがカラー印刷がされてはいるものの“O-MAP”ではなく、どちらかと言うと四国地方大会の時に与えられた競技地図であることが判明。スタートは、地図を縦長にし選手の手元側でコンパスを使い円周を引いてましたので、進行方向に見える小高い山並みが今回の競技エリアだと解りました。前回の山梨の時



時みたいに今回も山間での競技になることを覚悟して、自分の呼び出しがあるまで待ち続けました。8組の呼び出しがかかり始め自分の受信機を手に取り待機場所にて待機していた時なのですがこの時ばかりはさすがに緊張感が高まってきました殺気だっていた事だと思います。同グループ内の人で、私の持って来ていた受信機(TOP-GUN)について訪ねてきていた方がいたのですが返答が少し愛想無いモノになってしまった

(具体的な改造等についての事) ことに後で後悔もしましたがこの際、許してもらいましょうか…。

いよいよ地図を貰う時間になりましたがなかなかうまく貰えず、同グループ内でも最後に貰い受ける羽目になりました(トホホ〜)。貰った地図は案の定“O-MAP”ではないモノでした。1/10000の3色地図ですが、良く見ていると所々等高線のズレや側道及び幹線道路の不鮮明さが見受けられました。まず状況判断です。全体的には東西に広がる山並みを縦横無尽に獣道が横断していると言った感じで4年前失敗した富山での全日本大会を思い出しました。ゴール位置の確認及びスタート位置の確認、円周による750mのチェック、獣道をチェックしているだけですぐに5分間なんて来てしまいます。

スタート時間5分前の呼び出しの時もたいへん大事です。

スタートの時私はいつも最前列の決まって時計前のエリアを取っています。ジंकスではないのですが、時計合わせ(私はいつもストップウォッチ)の時は出来るだけ時計と睨めっ子になってますし「一秒なりとも無駄無く時計合わせがしたい」と言う気持ちが先行しますので出来るだけ、端の方にポジションを獲る癖が自然とついて来ている。今大会はJ P 3 E V M植木OMが隣に並んだ事もあり時計際とはいけませんでしたがそれでも、ポジションは従来通りの良い位置が取れたと思ってます。受信機の最終チェック(TX周波数及びAM/FM等の確認)とヘッドホン等の取り回し等を考えながらまもなくスタートです。

いよいよスタート。

スタート時はいつも全速力で駆け抜けていきます。

理由は多々有りますが、その中でも同グループ内の人の中で一番に受信開始地点で受信したいというのが最大の理由です。

今回の受信開始地点はかなり遠かったような気がします。250m前後走らされたかな。受信開始地点少し離れた所に見晴らしの良い場所を見つけましたので、最初の5分間で先へ進みたいといった気持ちを抑えつつ測向だけに集中しました。「何事も最初の判断で決まる」と私はいつもながらに思っていますので、目測にも余念がありません。今回は第5TXが受信開始地点より最も近い位置に。次の第4TXが第5TXより少し左にずれる形で奥



に有るみたいだと判断しました。第1TX及び第2TXの電波が弱いので山の向こう側にあるだろうと頭の片隅に書き留めて第3番TXの電波を待ちました。第3TXが送信開始、聞こえてくるはずの波が捕らえられなかったのですぐさまプリアンプに切り替えて受信しました。この時点で第3TXは山の陰か2km以上離れた所にあるモノだと判断。聞こえてくる電波の強さから地図上に東西に横たわる神明川の西端あたりと検討をつけ今回の巡回手順は時計回りと考えアタックを開始しました。

まずは最も近くに有るであろう第5TXです。

怪しいと思われる獣道にアタック開始直後地盤が結構悪くて、下ろしたてのシューズがいきなり泥だらけ「これは後で嫁さん(JG5TJJ)に怒られるな」などと脳裏をよぎりましたが「電波が聞こえてるのだからしょうがない」と開き直りそのまま強行。TXは山の南側斜面に設置してあり、アタック当初から強力に入感。急勾配の獣道を草の根をかき分けながら進んで山の奥へ奥へと突き進んでいきました。高低差をつけて近くから聞こえる様に見せるといった典型的なTXの隠し方がこの第5TXでは見受けられましたが何度となく練習や競技に励んできた私としてはロス無く比較的安易に見つけだす事が出来ました。捕獲後の確認ですが地図読みもここまではバッチリでTXの設置位置に印を付け400mの円周を引き、次の第4TXに関するエリアを確認。最初の目測との関連から南北に山を横断してある村道上柱田・長沼線に目星を付け次のアタック開始地点までは立ち止まることなく獣道を通り切りました。獣道の下りを走るのには結構勇気がいります。下る途中で何人かの選手を抜きましたがこの時ばかりは狭い獣道を強引といえる様な足取りで追い抜いたり、たまには、道から外れた藪からショートカットを試みたりと見ている方には多分異様だと思われるかもしれませんね。常に自分のポジションは前かがみで足元だけを見るのではなく前方を広い範囲で見渡すと言った感じで走っていますが、よくヘッドホーンを藪にさらわれそうになったりもします。今回は、藪をかき分けかき分けといった感じではなかったのが後陣の選手とぶつかる事はなかったのですがそういうことも多々に有る事も事実です(笑)

比較的整備されていた村道を通行可能にしていた事もあり比較的安易に第4TX付近までは行くことが出来ました。アタック開始エリアの周辺には東へ延びる獣道や小道が地図上では見受けられました。電波の強弱から峠の頂上付近から脇にそれて獣道が有りますのでこれを登っていきました。アタック開始時にもう一つ北側に存在する小道が実際気になってましたがそちらは峠を下った辺りから脇に入りましたので体力配分を考えて後回しにしたのが正解だったみたいです。

途中何人かの選手に遭遇。中には獣道の存在を知らないで通り過ぎるような選手もちらほら見受けられました。モンゴルの選手も混じってましたので、多分自分の位置をLOSTしてたのかもしれませんが、同スタートの選手とも遭遇しました。すれ違いざまの顔つきが良いようなので「やはりこの上に存在するであろう第4TXを捕獲してきたのだなあ〜」と思いました。次のエリア確認と地図読み等もしなくてはと刻々と変わる獣道や地形の変化に注意しながら登っていき難なく捕獲。大して苦労はしない位置にTXが有りましたので第5TXの配置関係と見比べたら拍子抜けしました。

問題は第3TXか第1TXか？

4番TX捕獲後の測方によると第1TXが村道を抜けきり給水ポイントが設けられてある所より南方に延びる小道の延長上に有ることが解りました。第4TXからは山が邪魔をして電波が弱いのですがその方角のみしか電波が聞こえず地図と照らし合わせても、間違いのないと思われたからです。その東隣から同じく第2TXの電波聞こえてきます。問題なのが第3TXの電波です。方角的には自分が立っている第4TX設置位置の獣道の延長上から聞こえてくるのですが道が有りません。このまま直進して山の奥へと行こうかと思いましたが山の形(等高線の間隔)等を見て、これは下手に道の無い所に入るよりも迂回した方が体力配分等で後々有利と判断し、後ろ髪をひかれる思いでその場を立ち去りました。峠道を北に下りかけると、右後方から山の合間を横切る形の小道から選手の姿がちらほら見受けられました。多分第5TXを探しているのでしょうか「そっちから探しても苦労するだけで時間の無駄だよ」と心で思いながらその場を後にしました。

さて、のどかな田園風景の見えるところまで出てきた頃案の定第1TXと第2TXが

東方向から聞こえてきました。こちらはゴール方向なので後回し。山の陰になったために聞こえなくなった第3TX方面へと山を迂回して村道をただひたすら快走しました。

〔文中にある “O-MAP” とはオリエンテーリング用地図のこと
“TOP-GUN” とは韓国製方位探索用受信機のこと〕

(以下次号に続く)

同封しております葉書（総会案内状）に近況等をご記入の上
ご返送くださいますよう、くれぐれもお願いいたします。

JARL 香川クラブでは、会員サービスのために無線局免許状の期限切れについてお知らせをしていますが、免許状記載事項に変更があったり、新たに無線局免許状を取得した方は、その都度お知らせくださいますようお願いいたします。

*** 連絡先 JH5WMN 山口博司 方

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

Eメール：JH5WMN
JH5LYW

**前年度までの会費が未納の方は早急に納入をお願いします。
また、平成12年度会費につきましても早急に納入をお願いします。**

会報等印刷発送だけで会費の半分以上を使っています。会費が未納の方は納入してくれている会員の方に負担をかけています。ぜひよろしくをお願いします。

*** 会費納入口座

JARL 香川クラブ ***

JARL 香川クラブ報

発行責任者	JA5AHM	天野 英弘
編 集 者	JA5TFJ	横田 壽夫
	JH5LYW	三好 伸幸
	JH5WMN	山口 博司
	JE5PBO	岡田 光

事 務 所 〒

天野 英弘 方

TEL :

郵便振替口座

JARL香川クラブ